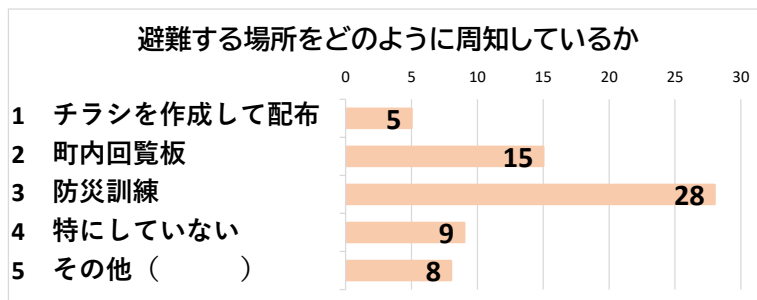


地震・津波対応検証プロジェクトチーム 自主防災組織アンケート 集計結果

1. 実施期間 : 令和8年5月18日(月)～29日(金)
2. 対象 : 八戸市内の自主防災組織70団体
3. 有効回答数 : 48団体
4. 実施方法 : 郵送
5. 内容 : 地震・津波発生時の活動、避難所の開設・運営、市職員との連携、希望する初動開設避難所など

問1 貴組織では、管轄内地域の住民が避難する場所をどのように周知していますか。

- 1 チラシを作成して配布
 - 2 町内回覧板
 - 3 防災訓練
 - 4 特にしていない
 - 5 その他()
- ・防災マップ、総会で伝える
 - ・町内会資料でお知らせ
 - ・津波ハザードマップ
 - ・当町内独自の防災マップ作成、各世帯配布
 - ・総会での研修会



問2 先の地震による津波警報発表時に活動しましたか。(それぞれ選択)

※どちらも「2いいえ」と回答した場合、問15へお進みください。

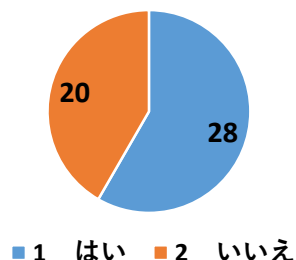
令和7年12月8日

- 1 はい
- 2 いいえ

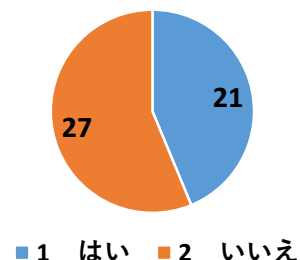
令和8年4月20日

- 1 はい
- 2 いいえ

津波警報発表時、活動をしたか
(R7.12.8)



津波警報発表時、活動をしたか
(R8.4.20)

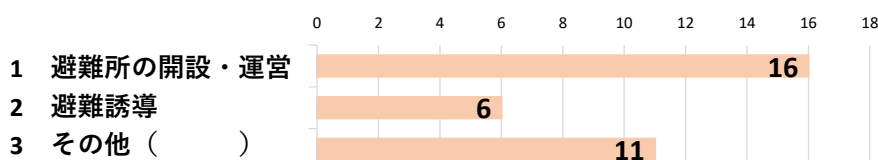


問3 どのような活動をしましたか。(それぞれ選択)

令和7年12月8日

- 1 避難所の開設・運営
 - 2 避難誘導
 - 3 その他()
- ・老人ホームへ連絡
 - ・安全確認
 - ・状況確認、呼びかけ
 - ・地域の見回り、1人世帯の安否確認
 - ・被害状況確認、見回り
 - ・アスネットねぎし自主防災会として協力
 - ・副会長へメールでの連絡
 - ・集会所に役員参集
 - ・場所提供のみ
 - ・避難タワーの開錠

どのような活動をしたか(R7.12.8)



令和8年4月20日

1 避難所の開設・運営

2 避難誘導

3 その他 ()

・老人ホームへ連絡

・安全確認

・状況確認、呼びかけ

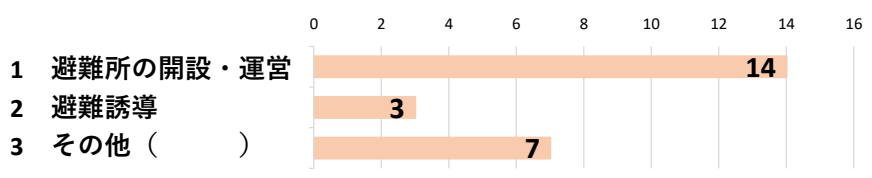
・被害状況確認、見回り

・アスネットねぎし自主防災会として協力

・副会長、班長への注意喚起

・避難タワーの開設

どのような活動をしたか(R8.4.20)



※次の問4～問10については、「避難所で活動した」という方はお答えください。

※避難所で活動していない場合は、問11へお進みください。

問4 活動した避難所名(それぞれ記入)

令和7年12月8日

柏崎公民館 小中野公民館 南浜中学校 松園町地域集会所 高館小学校 湊公民館 田面木公民館 北稜中学校 鯨公民館 鯨小学校 鯨中学校 桔梗野小学校 ラピア 江陽中学校 金浜小学校 白銀公民館 白銀小学校 白鷗小学校 白山台公民館 田向生活館 多賀台小学校 大館公民館

令和8年4月20日

柏崎公民館 小中野公民館 南浜中学校 松園町地域集会所 高館小学校 湊公民館 北稜中学校 鯨公民館 鯨小学校 鯨中学校 桔梗野小学校 江陽中学校 白銀公民館 白銀小学校 白鷗小学校 白山台公民館 旧日計ヶ丘小学校 大館公民館

問5 活動した避難所は市が開設した避難所ですか。(それぞれ選択)

令和7年12月8日

1 はい

2 いいえ

3 わからない

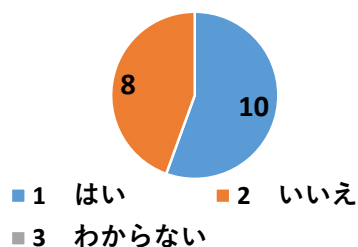
令和8年4月20日

1 はい

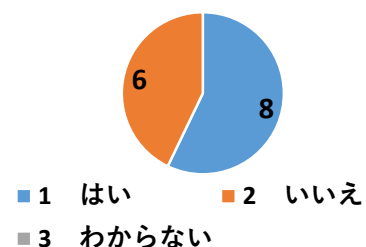
2 いいえ

3 わからない

市が開設した避難所か
(R7.12.8)



市が開設した避難所か
(R8.4.20)



問6 問5で「2いいえ」と回答した場合、開設した理由を教えてください。(それぞれ選択)

令和7年12月8日

1 活動拠点だから

2 地域から最も近い施設だから

3 すでにその施設に避難した住民から連絡があったから

4 その他 ()

・近隣の高齢者施設から要請があったため

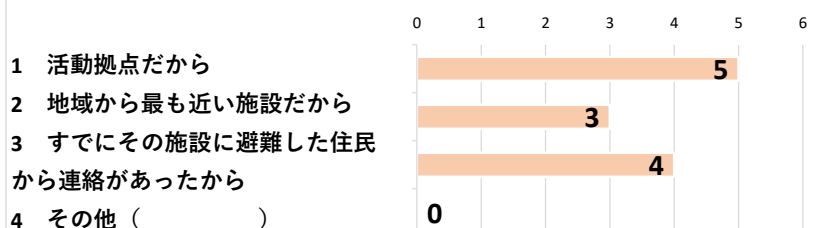
市が開設した避難所以外の避難所を開設した理由
(R7.12.8)



令和8年4月20日

- 1 活動拠点だから
- 2 地域から最も近い施設だから
- 3 すでにその施設に避難した住民から連絡があったから
- 4 その他()

市が開設した避難所以外の避難所を開設した理由
(R8.4.20)

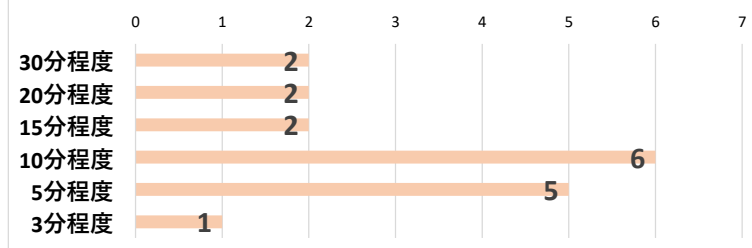


問7 避難所到着までに要した時間はどれくらいですか。(それぞれ記入)

令和7年12月8日

平均12分程度

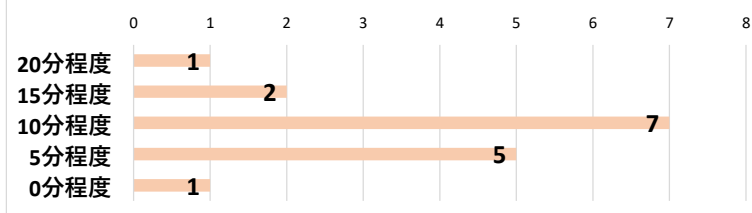
避難所到着までに要した時間(R7.12.8)



令和8年4月20日

平均9分程度

避難所到着までに要した時間(R8.4.20)

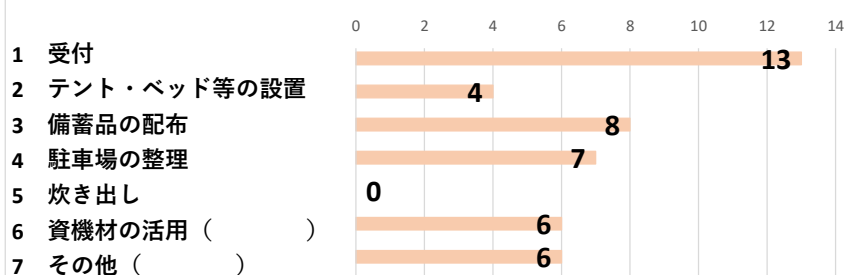


問8 避難所ではどのような活動をしましたか。(複数回答可・それぞれ選択)

令和7年12月8日

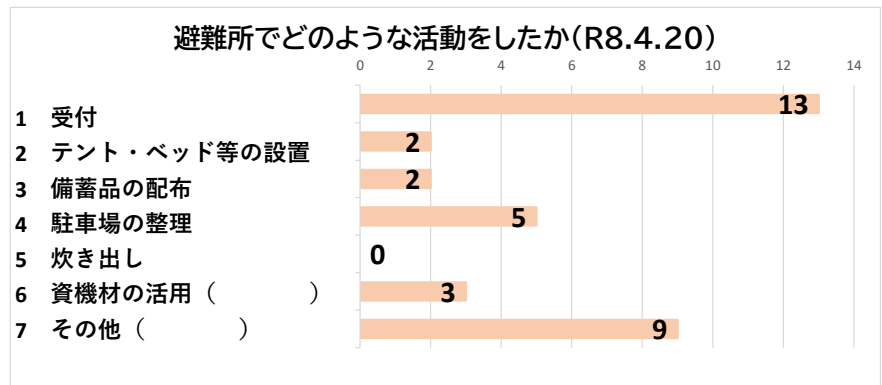
- 1 受付
- 2 テント・ベッド等の設置
- 3 備蓄品の配布
- 4 駐車場の整理
- 5 炊き出し
- 6 資機材の活用()
 - ・毛布(和室(畳)のため)
 - ・マット、毛布類、ダルマストーブ
 - ・ライト
 - ・ストーブ
- 7 その他()
 - ・照明、暖房をつけた
 - ・防災ラジオで情報を流す
 - ・待機
 - ・飲料(コーヒー、紅茶、茶)の提供
 - ・椅子の準備
 - ・ふくらむマットの設置

避難所でどのような活動をしたか(R7.12.8)



令和8年4月20日

- 1 受付
- 2 テント・ベッド等の設置
- 3 備蓄品の配布
- 4 駐車場の整理
- 5 炊き出し
- 6 資機材の活用()
 - ・パイプ椅子、マット
 - ・ストーブ
- 7 その他()
 - ・照明、暖房をつけた
 - ・飲料(コーヒー、紅茶、茶)の提供
 - ・ふくらむマットの設置



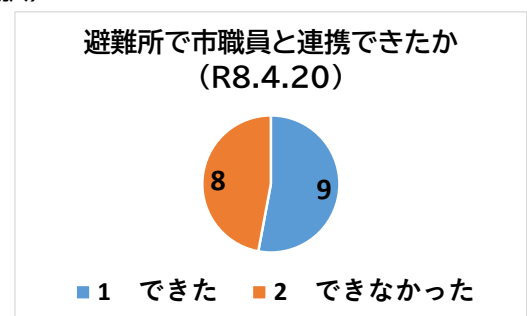
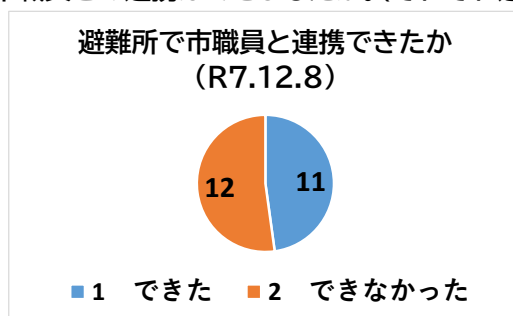
問9 避難所で従事した市職員との連携はできましたか。(それぞれ選択)

令和7年12月8日

- 1 できた
- 2 できなかった

令和8年4月20日

- 1 できた
- 2 できなかった



問10 問9の理由を教えてください。(それぞれ記入)

令和7年12月8日

1 できた

- ・市役所から連絡があり町内放送で連絡、中学校へ職員が行き、市職員と協力した
- ・7月30日と同じ職員さんがいたから
- ・市職員到着後、受付交代できた。避難者数など共有できた
- ・市が開設した避難所ではなかったが、市職員が割と早く公民館に来ていただけた(短時間滞在)
- ・市職員が早めに来て受付をしていた
- ・職員が毛布を持ってきた
- ・TELとPCで確認と情報交換

2 できなかった

- ・避難所として開設したことを市の方に連絡したが、市職員は誰も来なかった
- ・町内の集会所なので市職員はきません
- ・市職員は来ていない。後ほど来たが閉設間際だった
- ・夜遅くの発生のため、また、市職員も遅く、連携は困難
- ・地区防災員として、多くの人が避難したラピアと江陽中を往復し、状況を把握。ラピアの屋上は車で避難した人でいっぱい、徒歩での避難者もたくさんいた。寒いので江陽中へ移動できる人は移動するよう呼びかけた
- ・市職員が来ていなかった
- ・会長不在のため
- ・到着が早すぎたため
- ・市職員不在
- ・初動開設避難所でなかったため、市職員が来なかった。かなり遅く到着した

令和8年4月20日

1 できた

- ・市役所から連絡があり町内放送で連絡、中学校へ職員が行き、市職員と協力した
- ・7月30日と同じ職員さんがいたから
- ・市職員到着後、受付交代できた(到着遅かったがその後の集計などスムーズ)
- ・避難者の名簿作成(受付等の準備実施)、学校の先生方の協力が大きかった
- ・市職員が早めに来て受付をしていた
- ・津波警報発表と同時に避難所開設され、市職員2名が来て受付業務を始めてくれた。一緒に受付を行った
- ・TELとPCで確認と情報交換

2 できなかった

- ・避難所として開設したことを市の方に連絡したが、市職員は誰も来なかった
- ・町内の集会所なので市職員はきません
- ・市職員は来ていない。後ほど来たが開設間際だった
- ・会長不在のため
- ・施設から避難してきたため、施設職員に任せた(場所だけ提供した)
- ・市職員不在
- ・初動開設避難所でなかったもので、市職員が来なかった。かなり遅く到着した

問11 活動にあたり苦慮したことがあればご記入ください。(それぞれ記入)

令和7年12月8日

- ・市からは、指定避難所へ誘導してくださいとのことだが、自主防災会としては、とてもできない
- ・夜遅かったので、休養スペースを作ったり、備蓄水を配布した
- ・津波の判断
- ・避難者がいなかった
- ・活動のため外に出ると情報が分かりにくい。防災無線で津波の到達状況等知らせてほしい
- ・自分たちが何時までいるべきか先が見えないこと
- ・義足になり慣れていない人が、トイレ大変そうだった
- ・高齢者で静かな所で横になりたい人がいた(小和室に案内した)
- ・市が開設した避難所でないが避難してきた人々がいたが、その対応に苦慮した
- ・海岸沿いの事業所の避難者も多く、防災訓練とは違い、受付等の避難所開設対応ができなかったのでは
- ・状況により避難誘導等が必要かどうかの判断が難しい
- ・災害発生時の組織連絡体制
- ・暗くて寒い中でじっとしている怖さ
- ・市職員が来るまで時間がかかる
- ・初期、津波警報ということで、白山台内の商業施設駐車場が満車状態で、避難で来館ではなく、トイレ使用で数人利用があった
- ・平日で、見守りに行ける人の確保(今回は一日中)
- ・夜で暗くて寒いこと
- ・自助の意識向上
- ・公民館に備えていた毛布が足りず、別な倉庫に取りに行ったこと。1階だけでなんとか収容した。(2階まで絨毯を敷くことになれば大変であった)

令和8年4月20日

- ・市からは、指定避難所へ誘導してくださいとのことだが、自主防災会としては、とてもできない
- ・外国人の避難者が多く来た。下校途中の小学生、中学生が多く来た
- ・津波の判断
- ・携帯電話で役員とすぐ連絡がとれ、それぞれ役割分担してスムーズに行われたと思う
- ・活動のため外に出ると情報が分かりにくい。防災無線で津波の到達状況等知らせてほしい
- ・自分たちが何時までいるべきか先が見えないこと
- ・ペット同伴避難者の対応(キャリーケースの中だったが一緒にないとペットが鳴くとのことで一緒に小部屋へ入れた)
- ・海岸沿いの事業所の避難者も多く、防災訓練とは違い、受付等の避難所開設対応ができなかったのでは

- ・市からの援助要請の連絡があったが、公的避難所は川に近く、活動協力をお願いできにくかった
- ・災害発生時の組織連絡体制
- ・帰宅時間とも重なり、学校に迎えに来た人か避難してきた人か区別がつかなかった
- ・岩手県軽米が出身地だが親族が八戸市内に勤務のため、八戸市内でひとり暮らし。息子から白山台公民館へ行けと言われタクシーで来館するが、足首と膝をケガしていた。その後、家の近くの三八城公民館へタクシーで移動
- ・自助の意識向上

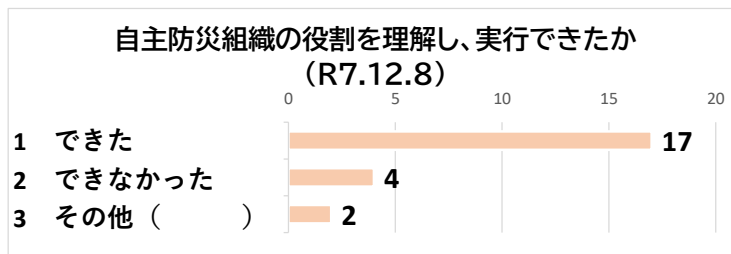
問12 自主防災組織としての役割を理解し、実行できましたか。(それぞれ選択・記入)

令和7年12月8日

1 できた

(できたと思うこと:)

- ・共助の取り組み
- ・自主防災会の会員がそれぞれ自主的に活動していた
- ・津波状況確認と避難の呼びかけ
- ・自主開設
- ・避難者の誘導(若い人は2Fホールへ、高齢者は1F和室へ等)
- ・地域の点検
- ・ホームタンク転倒により灯油漏洩、消防通報
- ・公民館職員とともに対応できた
- ・町内の状況確認



2 できなかった

(できなかったと思うこと:)

- ・夜中であつたこともあり、地域内の被害状況が不明
- ・多賀小学校との連携ができなかった

3 その他()

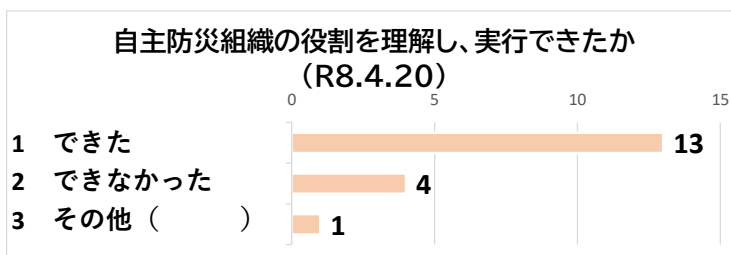
- ・組織員も被災者、自助優先
- ・今回は見守りのみ

令和8年4月20日

1 できた

(できたと思うこと:)

- ・共助の取り組み
- ・自主開設
- ・町内の状況確認
- ・津波状況確認と避難の呼びかけ
- ・自主防災会の会員がそれぞれ自主的に活動していた
- ・外国人旅行者(1人)へ声をかけ収容し、新幹線利用をアドバイスした
- ・受付、誘導、案内
- ・日中で明るかったの、各自避難していたのを見た



2 できなかった

(できなかったと思うこと:)

- ・津波の状況推移が把握できにくく連絡しにくかった
- ・多賀小学校との連携ができなかった

3 その他()

- ・組織員も被災者、自助優先

問13 避難者から受けた意見、要望があればご記入ください。(それぞれ記入)

令和7年12月8日

- ・想定区域外からの水平避難と高い所への垂直避難。また、徒歩での避難で柏崎公民館が最適である(江陽、小中野の方)
- ・家族にコロナ罹患者がいたが、どこに避難すればいいのか
- ・ペットと一緒に避難できるか
- ・いつ避難解除になるのか(いつ自宅に帰れるのか)
- ・市の総合防災訓練のように避難した。ラピアに行ったが暗くて、寒くて、とても疲れた、途中で帰った
- ・深夜、雪、等で車で避難するしかなかった(老人や乳幼児がいる家族)
- ・転勤族で土地勘が無く、とにかく高い所と思って来た
- ・とにかく公民館へ行けばよいと思って来た
- ・今後も避難が必要な時はお願いしたいと依頼された
- ・東日本大震災の津波の記憶があるため、津波が来た小学校への避難は心理的負担があるのと、多賀台団地への避難を希望する方が多かった

令和8年4月20日

- ・想定区域外からの水平避難と高い所への垂直避難。また、徒歩での避難で柏崎公民館が最適である(江陽、小中野の方)
- ・状況が分からないので、テレビがあったほうがいい(避難者から)
- ・避難所で使えるトランシーバーとかがあればいい(会員から)
- ・ペットの受入
- ・近くの自販機の場所
- ・いつ自宅に帰れるのか
- ・家の近くは江陽小だが、中学校までは遠くて歩けない
- ・万が一の時の集合場所に家族で決めている。大津波等にかかわらずあけてほしい
- ・一人でいるのが怖いので、ここに来ると安心する
- ・息子に「白山台公民館へ避難しろ」と言われタクシーで来館
- ・地震直後に小学校へ避難したら、まだ避難所開設の指示が市からなかったためなのか、追い返された

問14 市の対応について感じたこと(意見、要望、改善案など)をご記入ください。(それぞれ記入)

令和7年12月8日

- ・市職員不在のため、市の動きの情報が入ってこない。避難者には情報が必要
- ・公民館のエレベーターが停止したため、連絡のための階段の昇り降りが大変だったので、連絡ツールがほしい
- ・市職員の避難所への連絡が早かったため開設が早かった
- ・高館小学校は初動開設避難所にすべき
- ・食料の配布が遅かった(当方備蓄なし)
- ・市に問い合わせ(電話)した際、適切な回答が得られなかった
- ・長時間の避難を要する時の対応が明確でない
- ・非常用備蓄(食料、飲料等)の配給は
- ・市の職員の区別がつかない
- ・津波避難計画はあっても、それがまだまだ周知されていない現状である。ハザードマップのレッドゾーンの地域に住んでいる人たちは具体的な避難先を示す必要がある
- ・住民はマスコミの報道に左右されやすい。大津波だから、そうでないからとかで冷静に判断してはいないようだ。また、それによってより、何かあったら「公民館」という感じ。当公民館に市職員を派遣してほしい(そうなのですが)
- ・東日本大震災で被災した方もおり、津波が来た多賀小学校への避難を躊躇する方が多くいる。最初の段階で多賀台小学校を避難所として開設していただけないか

令和8年4月20日

- ・市職員不在のため、市の動きの情報が入ってこない。避難者には情報が必要
- ・中学校や中央高校へ自主避難した方はそのまま避難させてほしかった(津波警報中に、津波が来る方向に移動させるのはどうか)
- ・市職員の避難所への連絡が早かったため開設が早かった
- ・高館小学校は初動開設避難所にすべき
- ・長時間の避難を要する時の対応が明確でない
- ・非常用備蓄(食料、飲料等)の配給は
- ・突然の避難所の手伝い要請に戸惑った。事前にどのような手順で協力するのかの説明、研修が必要では
- ・災害は時間を選ばない。ちょうど混みあう時間帯になったため、車の渋滞も重なったのだろう
- ・住民はマスコミの報道に左右されやすい。大津波だから、そうでないからとかで冷静に判断してはいないようだ。また、それによってより、何かあったら「公民館」という感じ。当公民館に市職員を派遣してほしい(そうなのですか)
- ・カムチャッカの時にも感じたが、避難しなくてもいい場所、学校、事業所、商業施設などで一気に帰宅を促すことで渋滞が起きている。避難の必要のない場所にいる人たちについては少なくとも1時間はその場所にとどまることをルールとすることで、避難者の移動がスムーズになり渋滞問題が少しは解決できるかもしれない

問15 貴組織の管轄内において、津波警報発表に伴い初動で開設する避難所はどこがよいですか。また、その理由も教えてください。(津波浸水想定区域外の方は回答不要です)

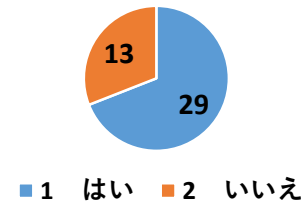
(理由:)

- ・尻引地区→桔梗野小学校 赤畑地区→多賀台小学校
- ・塩入生活館(生活インフラが整っているから)
- ・地域で指定された場所
- ・白浜生活センター(住民が動きやすい。集合しやすい。)
- ・小中野中学校、八戸中央高校、柏崎公民館(諏訪地区、小中野3丁目地区は、小中野中学校・中央高校へ、小中野1,2,4丁目地区は柏崎公民館へ)
- ・県立八戸東高等学校(津波浸水想定区域外で距離が近い)
- ・高館小学校(最短距離)
- ・大久喜保育園(こども園、くじらの家)、大久喜生活センター(南浜中学校は、県道の下で、津波浸水区域に入っているため)
- ・高館小学校
- ・このままで良い(場所を変えると避難者にとまどいがあると思うため)
- ・町内区域内に集会所があるため、過去の体験から小・中学校に行くよりは、安心感があり場所的にも慣れている
- ・八戸市公民館(大津波警報時の避難所となっていますが)が当防災会において運営人員の召集がしやすいと考える
- ・現状で良い
- ・現状のままで良い(桔梗野地区は恵まれている)
- ・津波到達時間を30分として、逃げる準備をし徒歩で避難するとできるだけ近くの避難場所がいい。高齢化が進んでいる今、長い距離は歩けない
- ・金浜小でいい(高台だから)
- ・三八城公民館
- ・大館公民館(住民によく知れわたっている。西地区からも近い)
- ・第一中学校、吹上小学校(避難所として認識されているため)
- ・旧日計ヶ丘小学校、北稜中学校、自衛隊
- ・現在の場所でのよい
- ・多賀台小学校(心理的にも多賀小学校より高台の多賀台小学校が避難所になっていることがよい)
- ・白山台公民館(津波は関係ないため)

問16 避難所となる施設の鍵を預かっていただき、災害発生時に解錠していただくことは可能ですか。

- 1 はい
- 2 いいえ

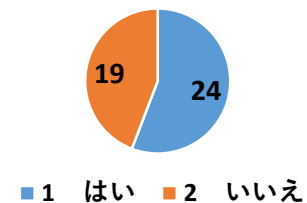
避難所の鍵を預かって、災害時に解錠していただけるか



問17 貴組織の活動対象地域内に複数の避難所を開設することになった場合、それぞれの避難所で活動可能ですか。

- 1 はい
- 2 いいえ

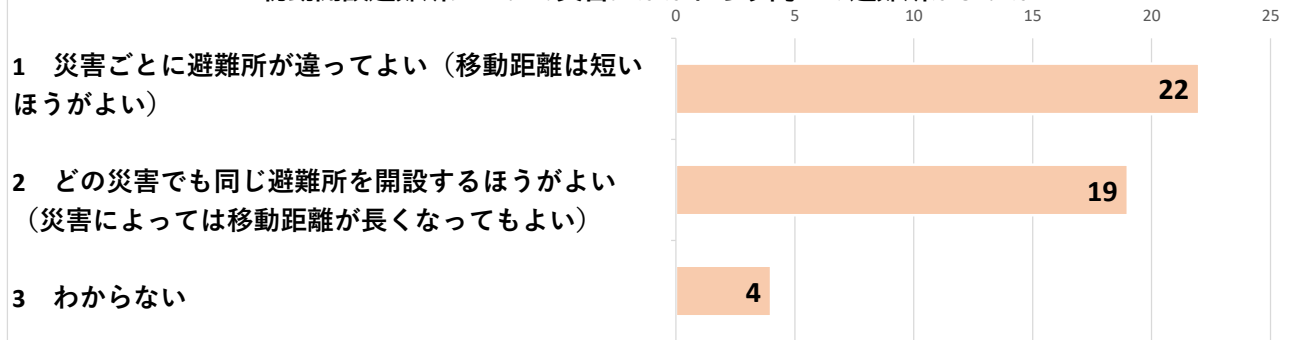
活動対象地域内に複数の避難所を開設する場合、それぞれの避難所で活動可能か



問18 初動で開設する避難所について、現在の運用では、避難者の移動距離を考慮し、津波などの避難対象地域外でかつ避難対象地域に近い施設を選定していますが、災害にかかわらず同一の避難所を選定したほうがよいですか。

- 1 災害ごとに避難所が違ってよい(移動距離は短いほうがよい)
- 2 どの災害でも同じ避難所を開設するほうがよい(災害によっては移動距離が長くなってもよい)
- 3 わからない

初動開設避難所について災害にかかわらず同一の避難所がよいか



問19 避難所運営に関する意見、要望を教えてください。

- ・津波は高台(小学校)、地震は生活館・公民館
- ・特になし(南郷地区は、津波の時は、二次避難や三次避難の場所と考えている)
- ・下長地区は、避難困難区域のため、下長小、高館小、南部山、海自八戸、城北小へ避難。北稜中は少ない
- ・津波警報の際、城北小学校も自主避難所(市職員派遣)として加えていただきたい(12/8・4/20も一定数、地区の方々が避難されている)
- ・災害時に必要な用具が充実していればよいと思う
- ・役所の持つ情報の共有化が図られてない気がする
- ・実際に運営できるか不安
- ・住民が使用している所。当地区では消防屯所又は生活センターが最適
- ・自主防災会会員は、人数も少なくそれぞれの仕事や家族環境等で全員が一つの避難所に集まることが無く、避難所が増えてもすべてで対応できないと思われるので、補助していただきたいと思う
- ・避難所に関する運営についてもっと詳細を情報発信してほしい。町内会としても対応の方針としたい
- ・今、避難所になっている2か所は屋根がないところなので、冬の場合は大変。その点は南浜中学校は、トイレもあるし、浜からは近いが町内の皆さんが安心して避難できる場所だと思う

- ・システムがよくわからない。何をすればいいかわからない。どこから連絡くるのかわからない
- ・冷暖房機器の設置補助をお願いしたい
- ・避難所に毛布を設置するとともに、クリーニング代の補助があればよい
- ・道路渋滞で、施設管理者、市職員の到着が遅くなったときの施設の解錠について、自主防でも解錠できるようにすれば良いと思う
- ・市職員が来るのが遅い。日中であれば学校の先生方の協力があり、それなりに対応しているが
- ・運営委員会の立ち上げ方等について、三者の共同作業を具体的(事例等)に示してほしい
- ・避難所に早く来た順に区分けした場合、不公平が生じるので、避難所の区分けは、地域ごと、要介護者など、事前に準備しておいてほしい
- ・市職員の業務マニュアル化(避難所に来たらまずやること、避難者への対応、災害対策本部とのやりとり)
- ・備蓄品の供給するタイミング・判断基準、学校と地区防災組織の連携がとても重要
- ・災害図上訓練
 - 災害発生初期にやる内容
 - 避難行動が終わってある程度落ち着いた段階でやる内容
 - 備蓄品供給や搬入物資の供給に関して必要な内容
- ・上長地区は津波避難は想定しがたい
- ・市職員が来るのに時間がかかるので、それまでの連絡体制(地域の担当職員の連絡先教えてほしい)
- ・自主防災組織として、「津波警報」が出された場合、当組織の地区内には3か所の避難所が開設される。災害対策課からは「津波防災センター」の開設をお願いされるが、城下から沼館方面に津波に向かって行くことにいささか抵抗を感じる。昨年7月30日に「津波警報」が出された時は、避難所開設として津波に向かって行ったが、「津波防災センター」には職員がいて、すでに開設され、当組織としての活動は単なる受付係だった。「津波警報」が出た場合には、当組織として避難所で何をするのか。権限はどこまであるのか
- ・年齢や身体状況、車の保有など他地区への避難は難しい。テレビ等で「今すぐ避難を！」と言われると避難すると思う。そうすると当地区では公民館が最適だと思う。車避難については何か工夫がほしい。ペット持参の方も増えているし、天候の状況等もあるので
- ・避難所運営とは少しずれるが、地区の消防団にも協力をいただいて、地域に広報活動してもらうのはいかがか。消防団は月に2回活動しているので、月に1回か2カ月に1回でもマイクを使って避難所の広報をしてもらうと、どこへ行けば良いのか目の情報よりも耳に残る方が記憶に残るのではないかと思う(例えば避難は最寄りの公民館、小中学校で、ペット可は〇〇小中学校です。)
- ・子ども自主防災組織も高齢化で活動できる人数の確保が困難となっている。当地区の避難所運営をする場合、地区自主防災会と町内の自主防災会の役割分担などが決まっていない
- ・避難所を早く開けてほしい、担当者だけでも早く来てほしい
- ・高齢者ではなくても災害でパニックになったとき、この災害はこっちの避難所、あの災害はあっちの避難所と分けて覚えていても、とっさに動けない。避難所を統一することは、まず避難を優先するためにも災害直後に考えることを増やさないためにも有効だと思う
- ・今回の地震を通して近所の方たちとお話ししていて、避難所へ手ぶらで行く、行けば何かもらえると思っている人たちが多いことに驚いた。避難者はお客様ではないことを、自主防災会だけではなくみんなが理解する、周知することが避難所を円滑に運営するためには必要だと思う
- ・体験を通して、実際の有事を知ること